資料3

第5回
鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

H30年度の取組及び今後の取組について

1）ハード対策の主な取組

■洪水を河川内で安全に流す対策

●鬼怒川・小貝川の河川改修
✓大規模溢水箇所等の堤防整備

●八間堀川の河川改修

【国の取り組み】

関東地整

【鬼怒川】　右岸向石下築堤工事　H30.7完成

【小貝川】左岸大夫落樋管改築工事　H31.4.　現場状況

【茨城県の取り組み】平成31年3月現在

茨城県

【八間堀川】鬼怒川緊急対策プロジェクトに位置付けられた八間堀川の整備が完了

改修前

改修後

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備
✓リスクが高い区間の水位情報をリアルタイムで自治体へ伝送する環境をH28年度に整備
✓サーバー増設により59箇所のライブ映像を配信

【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整

CCTVカメラの配信継続（全59箇所）

＜下館河川事務所HPにて配信中＞

クリックすると・・

ライブカメラ

平常時の様子

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布
✓防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

：H29年度以前実施済みの機関
：H30年度実施の機関
：H30年度未実施の機関
：H31年度以降実施予定または対象なしの機関

【具体事例】

古河市

・市内全域で123基の運用を行っている。古河市防災防犯登録メールの登録推進を行っている

常総市

・総務省の「戸別受信機等の情報伝達手段に係る実証事業」において戸別受信機を100台整備

利根町

防災無線（同報系）デジタル化工事を実施

守谷市

防災ラジオに代わる新たなシステム（携帯アプリ）を導入（市民生活総合支援アプリMorinfo）

アプリMorinfoの安否確認面

下妻市、坂東市

防災ラジオの配布を実施中

下妻市の防災ラジオ

坂東市の防災ラジオ

下妻市

防災行政無線のデジタル化に着手（操作卓、送信アンテナ用鋼管柱等の整備）

つくば市

小貝川や桜川の洪水浸水想定区域等に防災行政無線子局を増設

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備
✓水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備

【国の取り組み】平成31年3月現在

○市町の水防担当者へ向けて新技術を活用した水防資機材を紹介しました。
平成30年度　吸水性土嚢の作成、パネル式ウォーターフェンスの設置体験等
参加：協議会関係者、県関係者、主催者関係者 約40名

吸水性土嚢

パネル式ウォーターフェンス

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備
✓水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

古河市

水防団（消防団）へ資機材の充実を図った。

常総市

新技術を活用した水防資機材等の整備を進めた

利根町

水防団（消防団）の安全を確保するための資機材を整備

下妻市

「新技術を活用した水防資機材の紹介」に参加

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラの設置
✓簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラを整備し、配信中

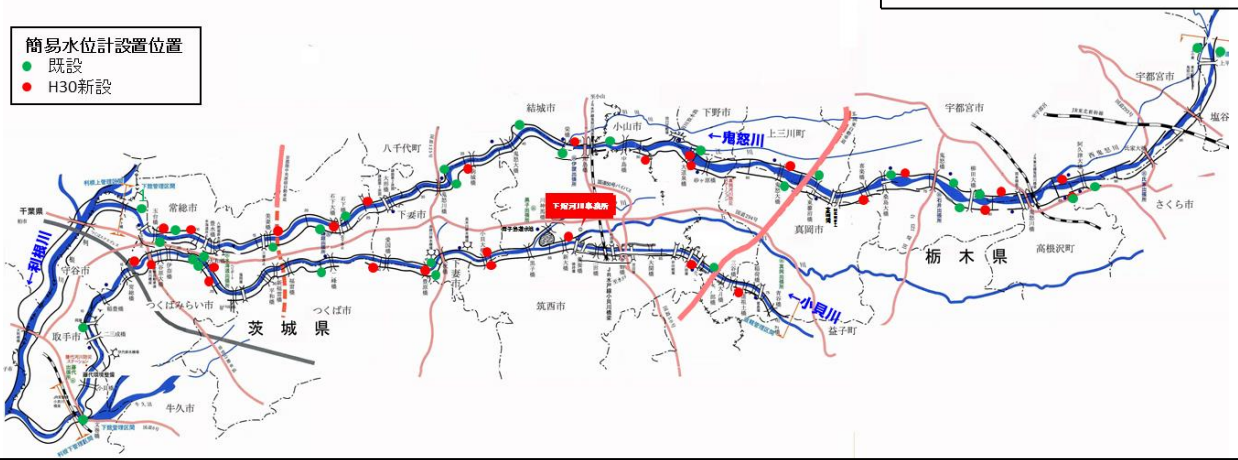
【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整

○ 簡易水位計　59箇所設置

簡易水位計

簡易水位計観測のデータは、関係市町に提供を行う。
（観測範囲：堤防天端から約4～5m程度）



【茨城県の取り組み】平成31年3月現在

【八間堀川】 河川監視カメラ及び危機管理型水位計を設置

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化
✓浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】（H28年度実施済み）

龍ケ崎市

耐水対策のため、自家発電装置のかさ上げを実施済み

坂東市

新庁舎の稼働により、自家発電装置の耐水対策を実施済み

常総市

市役所本庁舎および石下庁に防水壁（コンクリート）を実施済み

つくばみらい市

自家発電装置を3階屋上に設置済み

1）ハード対策の主な取組

■その他

●その他（その他の取り組み内容について記載）

【その他の取り組み】平成31年3月現在

常総市

防災アプリを開発
（H30年4月正式配信開始）

防災行政無線の戸別受信機を設置し、情報伝達の実証実験を実施

防災行政無線の戸別受信機、情報端末での利用強化
～住民への「きめ細やか」な情報伝達機能の実証～

団体名	茨城県常総市
事業概要	高齢者、外国人、市外からの来訪者に的確に防災情報を伝達するために、①防災行政無線の戸別受信機とテレビ、テロップ表示盤などを連動させて分かりやすく表示する機能拡充や②防災情報のプッシュ通知（多言語対応）等を行うスマートフォンアプリの整備を行って、各機能の有用性の検証や課題抽出及び対策の検討を行う。

関東地整

事業の進捗状況をHPより発信

（鎌庭管内の例）

各工事について、定期的に進捗状況をHPアップしている。

かわまちづくり（下妻市の例）

魅力あふれる川の周りを「リバースポット」と位置づけて、鬼怒川の改修と併せて設置する管理用通路等をサイクリングロードとして整備し、周遊性の向上を図る。

※下館河川事務所では、地域を元気にするなどの付加価値を狙って「鬼怒川緊急対策プロジェクト＋１（プラスワン）」と称し、単にプロジェクトを進めるだけでなく、一歩進んだ取り組みや工夫を講じていきます。

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

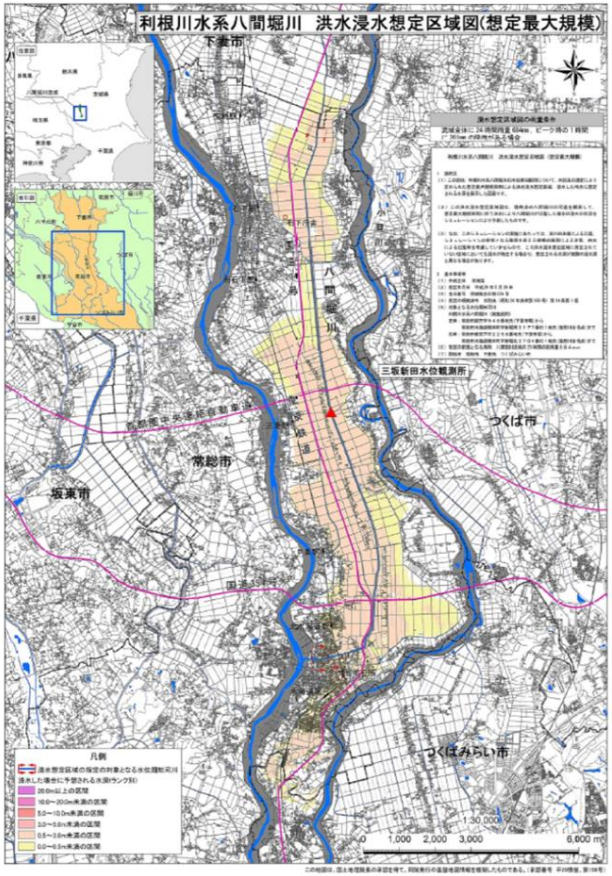
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●想定最大規模降雨による浸水想定区域図（鬼怒川・小貝川・八間堀川）の公表
✓想定最大規模降雨による浸水想定区域図を公表する

【茨城県の取り組み】

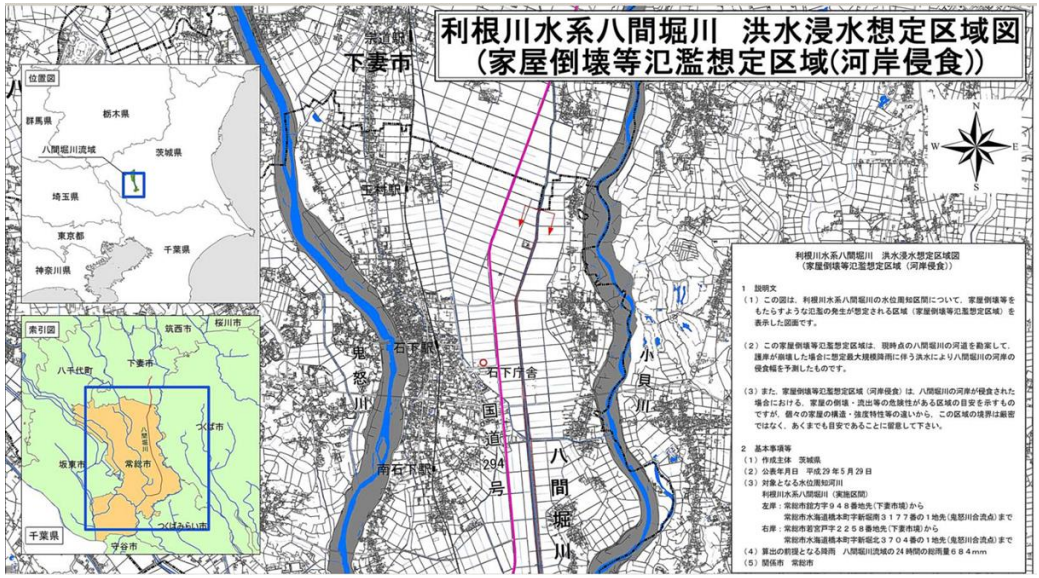
○ 利根川水系八間堀川　公表

想定最大規模



下記図面を公表
- ■ 想定最大規模
- ■ 浸水継続時間
- ■ 計画規模
- ■ 家屋倒壊等氾濫想定区域
  （氾濫流・河岸侵食）

※　図面は茨城県HPで公表しております。



2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●想定最大規模降雨による氾濫シミュレーション（鬼怒川・小貝川・八間堀川）の公表
✓想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションを公表する

【国の取り組み】

関東地整

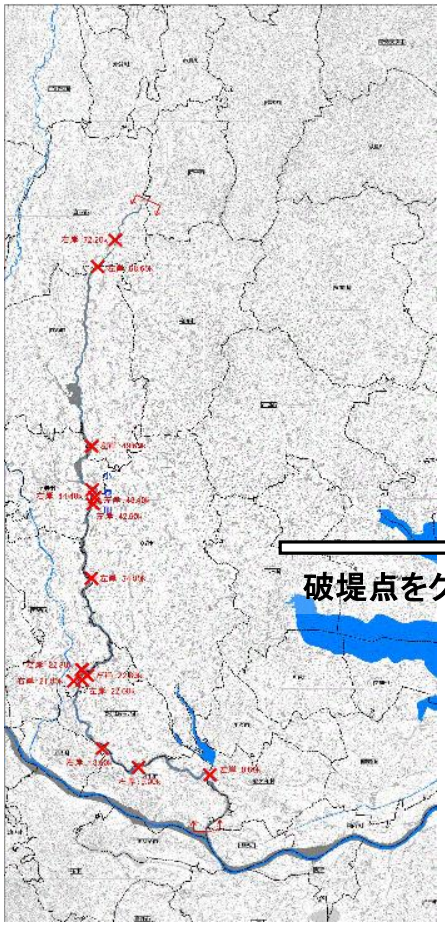
小貝川　氾濫シミュレーション（代表地点）　公表

左岸8点、右岸6点について、氾濫シミュレーションを時系列に示した図を公表しています。

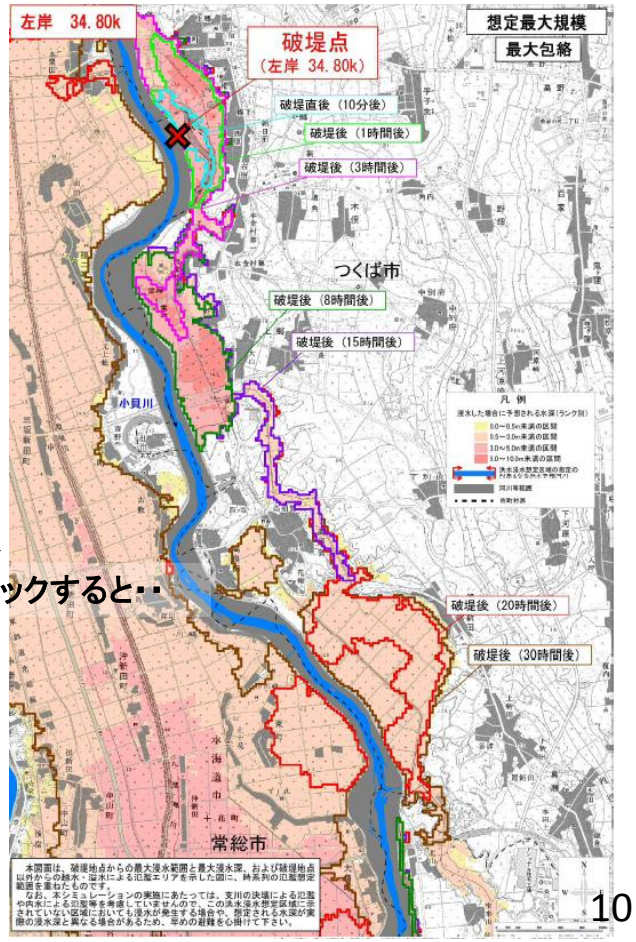
（下館河川事務所HPより）

注）越水・溢水の氾濫エリアも考慮して、表現をしている。

※　なお、「地点別浸水シミュレーション検索システム」（浸水ナビ）においても、全地点におけるシミュレーション結果を公表予定です。



破堤点をクリックすると・・



2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●広域避難計画の策定
✓広域避難計画（案）を策定するための支援を行う

【国の取り組み】平成31年3月現在

国土地理院

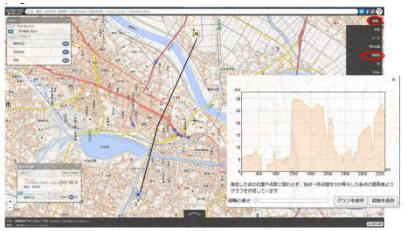
防災に活用可能な地図ツールを公開

1．地理院地図
：日本の国土の様子を発信するウェブ地図

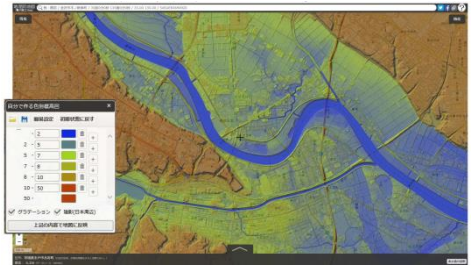
防災に活用可能な機能例

・地形図、写真、地形分類、災害情報等、1,800以上の項目を収録

・断面図の表示



・色別標高図の作成



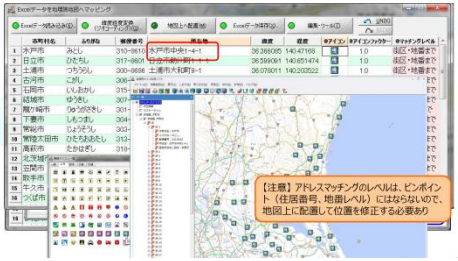
・URL、QRコードで情報を共有

2．地理院マップメーカー2
（国・地方公共団体に配布）
：さまざまな地理空間情報を取り込み、編集・表示、出力が可能なツール

防災に活用可能な機能例

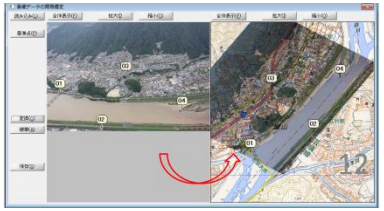
・災害時に必要な大判の地図を印刷

・ローカル環境で利用
・Excel住所録を活用



・地理院タイルと同形式のタイルデータを出力

・地図、写真、画像データの重ね合わせ



2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●広域避難計画の策定
✓広域避難計画（案）を策定するための支援を行う

【茨城県の取り組み】平成31年3月現在

○ 災害対応勉強会　広域避難検討ワーキンググループ

目　的	自然災害に係る広域一時滞在に関することを検討
構　成	県，県内13市町村（下妻市，常総市，つくばみらい市等） （オブザーバー参加：国，関係機関等）
内　容	広域避難計画策定ガイドラインの作成
時　期	平成29年7月，11月，30年3月（計3回開催）

（ワーキンググループのイメージ）

○ 広域避難計画策定ガイドライン（平成30年3月策定）

目　的	「逃げ遅れゼロ」に向け，県内市町村間の広域避難の推進を支援
内　容	○広域避難計画作成の手順 ・避難対象区域の設定 ・避難者数の検討 ・避難場所の検討 ・危険箇所と 避難経路の検討　など ○発災時の対応 ・避難開始の判断　など

平成30年度中に鬼怒川・小貝川下流域の広域避難計画（案）が作成できるよう支援

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●広域避難計画の策定
✓協議会の中で広域避難計画（案）を策定

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

龍ケ崎市

・小貝川・利根川洪水避難計画を策定し，再度見直しを行った。
・H30.2.14に小貝川・利根川洪水避難計画を検証するための図上訓練を実施

全市町、茨城県

広域避難計画策定に向けた基本事項調査を実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
✓想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、広域避難計画も反映した洪水ハザードマップを策定する

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

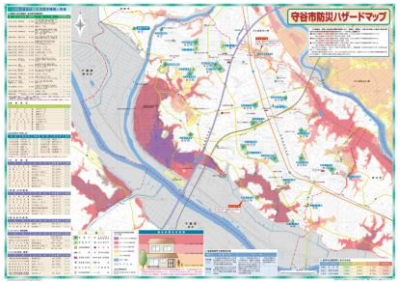
平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

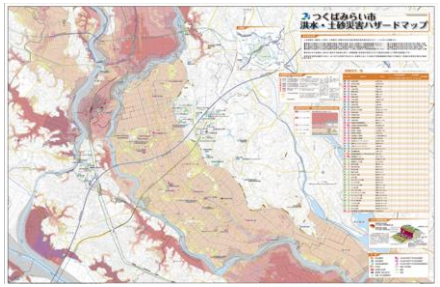
【具体事例】

守谷市、つくばみらい市

・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画も反映した洪水ハザードマップを策定
・洪水ハザードマップのポスティングによる全戸配布



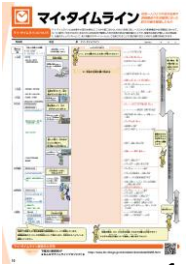
守谷市



つくばみらい市

利根町

防災の手引き及び洪水ハザードマップを作成し，防災の手引きの中にはマイタイムラインを掲載し，各戸配布による周知を図った。



2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
✓公共施設や電柱を中心に、看板の設置を検討していく

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

：H29年度以前実施済みの機関
：H30年度実施の機関
：H30年度未実施の機関
：H31年度以降実施予定または対象なしの機関

【具体事例】

龍ケ崎市

JR佐貫駅近辺の一部の電柱等に避難場所案内標識を整備

坂東市

河川沿いや浸水が想定される地域の電柱に標高を表示

標高ステッカー設置状況

守谷市

避難所標識版のレイアウトを災害種別に応じた標記へ変更

利根町

町内の避難所12箇所に、避難所案内看板を設置。

常総市

鬼怒川及び小貝川における想定浸水深の表示板を設置完了

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
✓要配慮者利用施設の避難計画に水害を位置づけていく

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

古河市

・要配慮者利用施設に対して、避難計画の作成及び訓練の促進について調査を実施し、避難計画の市への提出を依頼
・提出された避難計画について防災部局にて確認作業を随時実施

【様式編】
洪水時等の避難確保計画
施設名：
（H３０年　月作成）

結城市

・浸水想定区域内で水防法の避難計画未策定の要配慮者利用施設を確認済
・要配慮者利用施設管理者説明会に周知を担当課に依頼

龍ケ崎市

・要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練実施支援

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
✓要配慮者利用施設の避難計画に水害を位置づけていく

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

：H29年度以前実施済みの機関
：H30年度実施の機関
：H30年度未実施の機関
：H31年度以降実施予定または対象なしの機関

【具体事例】

下妻市

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練に関する説明会に参加

常総市

・茨城県主導により要配慮者利用施設の避難確保計画策定に関する説明会を実施
・地域防災計画の改定により、浸水想定区域内の要配慮者利用施設について明記する予定

坂東市

・地域防災計画に位置付け、避難計画作成及び訓練実施を支援【H31年度】
・担当課と調整を図り、浸水想定区域内の要配慮者施設における避難確保計画の作成状況調査を実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用
　✓ハザードマップの周知のサポートとして、ハザードマップポータルサイトや地図情報を提供

【国の取り組み】

国土地理院

災害リスク情報を容易に確認できるようハザードマップポータルサイトを改良し公開

平成29年度のシステム改良のポイントについて

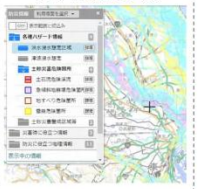
添付資料

ハザードマップポータルサイトがさらに使いやすくなりました。
見たい災害リスクを素早く確認できます。

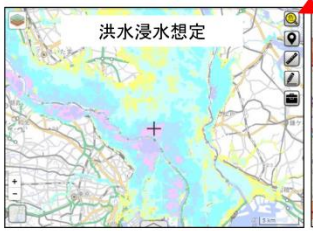
①国土交通省トップページのバナーをクリック

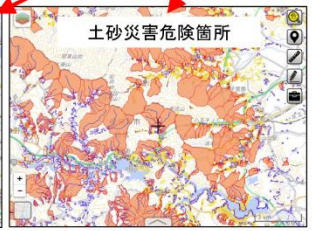
②災害種別の図記号（ピクトグラム）をクリック

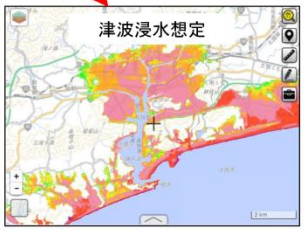
（②これまで）
文字情報から選択

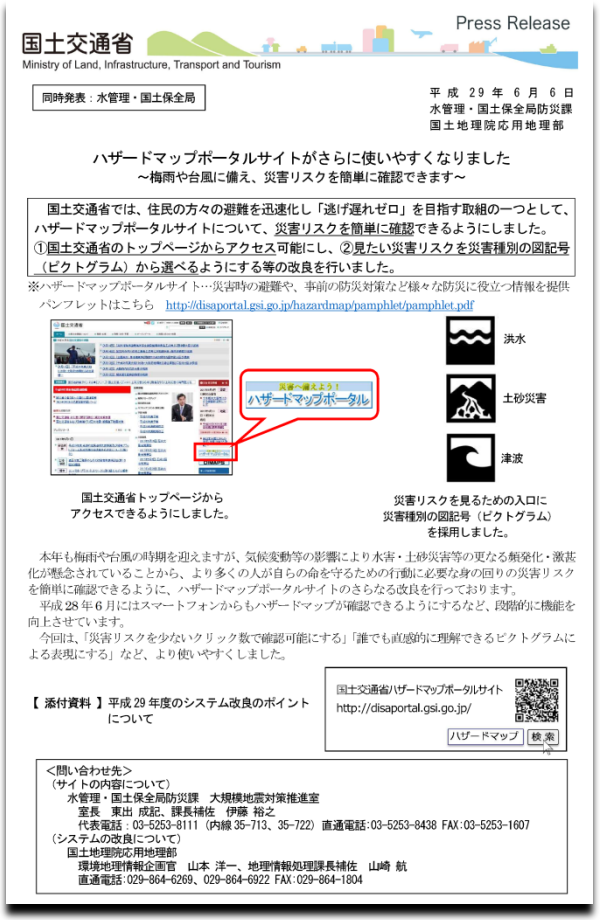


③地図上に災害リスク情報が表示されます。









国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

同時発表：水管理・国土保全局

平成29年6月6日
水管理・国土保全局防災課
国土地理院応用地理部

ハザードマップポータルサイトがさらに使いやすくなりました
～梅雨や台風に備え、災害リスクを簡単に確認できます～

国土交通省では、住民の方々の避難を迅速化し「逃げ遅れゼロ」を目指す取組の一つとして、ハザードマップポータルサイトについて、災害リスクを簡単に確認できるようにしました。
①国土交通省のトップページからアクセス可能にし、②見たい災害リスクを災害種別の図記号（ピクトグラム）から選べるようにする等の改良を行いました。

※ハザードマップポータルサイト…災害時の避難や、事前の防災対策など様々な防災に役立つ情報を提供

パンフレットはこちら　http://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/pamphlet/pamphlet.pdf

洪水
土砂災害
津波

国土交通省トップページからアクセスできるようにしました。

災害リスクを見るための入口に災害種別の図記号（ピクトグラム）を採用しました。

本年も梅雨や台風の時期を迎えますが、気候変動等の影響により水害・土砂災害等の更なる頻発化・激甚化が懸念されていることから、より多くの人が自らの命を守るための行動に必要な身の回りの災害リスクを簡単に確認できるように、ハザードマップポータルサイトのさらなる改良を行っております。
平成28年6月にはスマートフォンからもハザードマップが確認できるようにするなど、段階的に機能を向上させています。
今回は、「災害リスクを少ないクリック数で確認可能にする」「誰でも直感的に理解できるピクトグラムによる表現にする」など、より使いやすくしました。

【添付資料】平成29年度のシステム改良のポイントについて

国土交通省ハザードマップポータルサイト
http://disaportal.gsi.go.jp/
ハザードマップ　検索

<問い合わせ先>
（サイトの内容について）
水管理・国土保全局防災課　大規模地震対策推進室
室長　東出 成記、課長補佐　伊藤 裕之
代表電話：03-5253-8111（内線35-713、35-722）直通電話:03-5253-8438 FAX:03-5253-1607
（システムの改良について）
国土地理院応用地理部
環境地理情報企画官　山本 洋一、地理情報処理課長補佐　山崎 航
直通電話:029-864-6269、029-864-6922 FAX:029-864-1804

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成
✓現在試行段階であるタイムラインを，検証し見直しを図っていく
✓チェックシートを活用した確認作業の仕組みを構築

【市町、国の取り組み】平成31年3月現在

協議会に参加するすべての市町において、タイムライン作成済　→　タイムラインの充実に向けた取組。
・タイムラインを実際に活用し、見直しを行うことで、より実用的かつ実効的なものとするためにタイムラインチェックシート（案）を作成し、タイムラインを充実させるための仕組みを構築

	主体	標準/推奨	NO	チェック項目	○○市（町） H○○／○月版 ○○川 チェック欄	自治体 記入欄（H○○.○○.○○確認）	河川事務所 記入欄（H○○.○○.○○確認）
記載項目チェック内容	気象・水象情報	標準	①	監視すべき水位観測所名は網羅しているか（洪水予報が伝達される水位観測所を記載しているか）			
			②	水防団待機水位の水位は今年度（H29年度）の水位となっているか			
			③	氾濫注意水位の水位は今年度（H29年度）の水位となっているか			
			④	避難判断水位の水位は今年度（H29年度）の水位となっているか			
			⑤	氾濫危険水位の水位は今年度（H29年度）の水位となっているか			
		標準	⑥-1	ホットラインについて	避難判断水位		
			⑥-2		氾濫危険水位		
			⑥-3		堤防天端到達		
			⑥-4		氾濫発生		
			⑦-1	避難情報について	避難準備・高齢者等避難開始		
			⑦-2		避難勧告		
			⑦-3		避難指示（緊急）		
		推奨	⑧	要配慮者利用施設への連絡について			
			⑨	リエゾンの要請について			
			⑩	ポンプ車等の災害対策機械の要請について			
			⑪	災害拠点病院への連絡はされているか			
			⑫	大規模事業者・地下街管理者への連絡はされているか			
			⑬	休園・休校の判断はあるか			
			⑭	水防資器材（土嚢等）の準備はあるか			
			⑮	住民からの情報収集はあるか			
			⑯	協定業者（建設会社等）と連絡はあるか			
		その他	⑰	その他特筆すべき事項			

※ 本チェックシートは、タイムラインを市町、河川事務所双方で確認することを目的として作成したものです。
タイムラインを修正、更新する際には、市町の計画等と整合を確認の上、ご判断ください。

【標準】：避難勧告等の発令等につながる標準的な項目
【推奨】：より効果的な防災行動を行うために参考と考えられる項目

今後は、協議会として本チェックシートを活用し、タイムラインの更新、充実を図っていきたいと考えております。
現時点で、チェックシートに対してご意見等ありましたらお聞かせ下さい。

①市町は自身のタイムラインをチェックし記入

②下館河川事務所は河川管理者の立場から助言を記載し返送

③市町が助言事項を確認し必要に応じて見直し

④出水期前までに共有

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
✓実践的な訓練を実施

【市、県、国の取り組み】平成31年3月現在

洪水時に的確な情報伝達が実施できるよう、龍ケ崎市、つくばみらい市、茨城県、気象庁、下館河川事務所等が連携し、実際の洪水を想定した情報によりタイムラインを活用した机上形式の洪水時情報伝達演習を実施。演習では、「マイ・タイムライン」を作成した住民の方にも参加いただき、「マイ・タイムライン」に基づき自らの行動を確認する訓練も併せて実施。

・実　施　日　　：平成30年7月1日（日）
・実　施　場　所：龍ケ崎市　馴馬台小学校
・訓練参加者数：約110名（うち住民77名）

・実　施　日　　：平成31年3月10日（日）
・実　施　場　所：つくばみらい市　伊奈公民館
・訓練参加者数：約70名（うち住民50名）

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練

✓実践的な訓練を実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

龍ケ崎市

下館河川事務所と連携した洪水情報伝達演習（マイ・タイムライン検証訓練）を川原代地区で実施

下妻市

H30.9.2 千代川中学校区を対象に、水害を想定した市防災訓練を実施

守谷市　市民生活総合支援アプリMorinfoを活用した防災訓練の様子H30.9

常総市　下館河川事務所主導のもと，タイムラインに基づく図上訓練を実施

全市町

ホットライン訓練

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

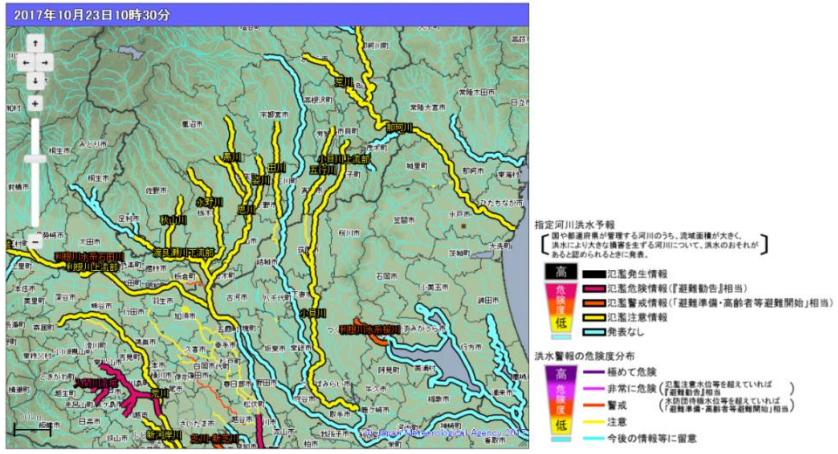
✓気象情報発信に係るサポート等を検討する

【国の取り組み】

気象庁　【参考】H29年度出水期～　実施予定

○気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善

「警報等における危険度を色分けした時系列表示」及び「警報級の可能性」の情報提供を平成29年5月17日より、「洪水警報の危険度分布」を平成29年7月4日より開始



洪水警報の危険度分布

警報等を解説・見える化する

警報級の可能性

栃木県南部の警報級の可能性
南部では、２１日までの期間内に［高］及び［中］はない。今後の情報に留意。

栃木県南部	警報級の可能性						
種別	20日		21日				
	夕方まで	夜～8時ナ方	朝～夜遅く	22日	23日	24日	25日
	12-18	18-6	6-24				
大雨	－	－	－	［中］	［高］	－	－
大雪	－	－	－	－	－	－	－
暴風（暴風雪）	－	－	－	－	［高］	－	－

警報等における危険度を色分けした時系列表示

宇都宮市		今後の推移（■警報級 □注意報級）									(備考・関連する現象)
発表中の警報・注意報等の種別		22日	23日								
		21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
大雨	1時間最大雨量（ミリ）	40	60	60	40	10					
	（浸水害）										浸水警戒
	（土砂災害）										土砂災害警戒
洪水	（洪水害）										氾濫
強風	風向風速（天気・メートル）	11	12	18	20	20	20	15			
雷											竜巻

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
✓ハザードマップの見方などの水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口を設置する

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

全市町、茨城県、気象庁、国土地理院、関東地整

協議会構成員の問い合わせ窓口を開設 （下館河川事務所HPより）

水災害への事前準備に関する“問い合わせ窓口”

組織		担当者部所	電話番号	対象河川
茨城県エリア	古河市	消防防災課	0280-92-3111	鬼怒川
	結城市	防災安全課	0296-32-1111	鬼怒川
	龍ケ崎市	危機管理課	0297-60-1514	小貝川
	下妻市	消防交通課	0296-43-2119	鬼怒川、小貝川
	常総市	防災危機管理課	0297-23-2111	鬼怒川、小貝川
	取手市	安全安心対策課	0297-74-2141	小貝川
	つくば市	危機管理課	029-883-1111	小貝川
	守谷市	交通防災課	0297-45-1111	鬼怒川、小貝川
	筑西市	消防防災課	0296-24-2111	鬼怒川、小貝川
	坂東市	交通防災課	0297-35-2121	鬼怒川
	つくばみらい市	防災課	0297-58-2111	鬼怒川、小貝川
	八千代町	消防交通課	0296-48-1111	鬼怒川
	利根町	総務課	0297-68-2211	小貝川
	茨城県	防災・危機管理課	029-301-2885	鬼怒川、小貝川
		鬼怒川流域緊急対策推進室	029-301-4491	鬼怒川、小貝川
栃木県エリア	宇都宮市	危機管理課	028-632-2052	鬼怒川
	小山市	消防本部危機管理課	0285-39-6661	鬼怒川
	真岡市	市民生活課	0285-83-8396	鬼怒川、小貝川
	矢板市	市民生活部危機対策班	0287-43-1111	鬼怒川
	さくら市	総務課危機管理係	028-681-1111	鬼怒川
	下野市	安全安心課	0285-32-8894	鬼怒川
	上三川町	総務課	0285-56-9115	鬼怒川
	益子町	総務課	0285-72-8826	小貝川
	芳賀町	総務課	028-677-6029	鬼怒川
	塩谷町	総務課	0287-45-1111	鬼怒川
	高根沢町	地域安全課	028-675-8110	鬼怒川
	栃木県	危機管理課	028-623-2136	鬼怒川、小貝川
		河川課県土防災対策班	028-623-2551	鬼怒川、小貝川
国土交通省	気象庁	宇都宮地方気象台	028-635-7260	鬼怒川、小貝川
		水戸地方気象台	029-224-1106	鬼怒川、小貝川
	国土地理院	関東地方測量部防災課	03-5213-2054	鬼怒川、小貝川
	関東地方整備局	下館河川事務所調査課	0296-25-2171	鬼怒川、小貝川
		鬼怒川ダム統合管理事務所調査課	028-661-7764	鬼怒川

※対象は『平常時に準備を進める際の問い合わせ窓口』であり、出水等の災害時には災害対応等を優先させていただきます。ご了承ください。

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
✓水防災に関する説明会を開催する

【国の取り組み】平成31年3月現在

気象庁

台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項について、
注意、警戒を呼びかけるための台風説明会を開催。

平成30年 台風第12号の茨城県への影響について

（平成30年：計3回開催）

関東地整

・出水期に係る対応等に関する連絡会を開催

○水防災の意識の共有・再確認を図るため「関係機関向け説明会」を開催
⇒H30/5/7に茨城県、栃木県、関係市町（23箇所）の防災部局、土木部局の部長を対象に「出水期に係る対応等に関する連絡会」を実施
⇒H30/6/7から関係市町（24箇所）を対象に首長との意見交換を実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
✓水防災に関する説明会を開催する

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

古河市

・防災出前講座を実施

・マイ・タイムライン作成講座を実施

・市長と語ろうまちづくりと題した、各河川の浸水想定区域の地域を対象とした水防説明会を開催

結城市

・H30/6/17洪水ハザードマップ説明会を実施

・H30/2/3住民避難力強化研修を久保田地区で開催

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
✓水防災に関する説明会を開催する

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

つくばみらい市

・H31.2.3　マイ・タイムラインリーダー認定講座

・H31.3.10 タイムラインに基づく情報伝達訓練

地域住民を対象としたマイ・タイムライン講座（H30.8月）及び住民避難力強化事業（H31.2月）等を実施

取手市

防災講演会を開催

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
✓水防災に関する説明会を開催する

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関
古河市
結城市
龍ケ崎市
下妻市
常総市
取手市
つくば市
守谷市
筑西市
坂東市
つくばみらい市
八千代町
利根町

【具体事例】

下妻市

・市長が行う「どこでも市長室」において、洪水ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟを浸水想定区域の説明等を行った

常総市

・防災シンポジウムの実施「流域防災先進地域からの提言」

つくば市

・防災士向けに「TSUKUBA BOSAIフォーラム」を開催。

八千代町

・総合防災訓練時に、防災士による講演会開催、職員派遣による災害情報の伝達

総合防災訓練の講演会

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
✓水防災に関する説明会を開催する

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

つくば市

・平成31年3月に地域の防災リーダーである防災士向けの防災検討会を実施

筑西市

・浸水被害の経験がある地区を対象に防災講演会を実施

坂東市

防災出前講座や行政区向け防災説明会等で実施

利根町

・町の出前講座を開催し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●教員を対象とした講習会の実施
✓教員を対象とした講習会等を実施

【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整

先生方へマイ・タイムライン作成講座を実施

平成30年度常総市小中学校一斉学校防災訓練で実施するマイ・タイムラインの作成に向けて
市内14校の小中学校の先生方に、マイ・タイムライン作成講座を実施

マイ・タイムライン説明

マイ・タイムラインを作成

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●教員を対象とした講習会の実施
✓教員を対象とした防災教育等を実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

：H29年度以前実施済みの機関
：H30年度実施の機関
：H30年度未実施の機関
：H31年度以降実施予定または対象なしの機関

【具体事例】

古河市

H25.6.6より市内小中学校・高等学校より選出された委員組織する「古河市学校防災推進委員会」を設置し、年数回の情報交換及び研修会を実施している

龍ケ崎市

防災訓練の際に、小・中・高の教員に向けた防災教育を行っている

常総市

小中学校一斉学校防災訓練で実施するマイ・タイムラインの作成に向けて学校教員にマイ・タイムラインの事前レクを実施

取手市

一部の小学校において教員も含めたマイ・タイムライン講座を実施

守谷市

・要望のあった小・中学校を対象に実施した

坂東市

・地域と小学校の合同防災訓練と併せて実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●小学生を対象とした防災教育の実施
✓出前講座や工事見学会等で防災に関する教育を実施

【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整　小中学校、高校を対象に防災教育を実施。

鬼怒川緊急対策プロジェクトの工事現場を見学会

平成30年6月19日常総市菅生小学校

平成30年6月22日坂東総合高校

小中学生向けの出前講座

平成30年6月8日下妻市大宝小学校

平成30年9月3日常総市石下小学校

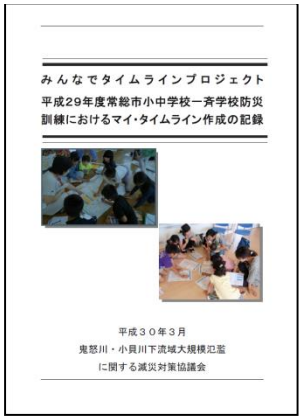
平成31年2月14日坂東市東中学校

気象庁

〇小学校に職員を派遣して、防災に関する講演を実施。
〇小学生による気象台の見学を受け入れ、気象や防災に関して説明を実施。

お天気フェアー2018（水戸地方気象台）

平成29年度常総市小中学校一斉学校防災訓練
におけるマイ・タイムライン作成の記録



2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●小学生を対象とした防災教育の実施
✓小学校において水災害教育（避難訓練、マイ・タイムラインの作成等）を実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

下妻市

小学校3校、中学校1校で水防教育（マイ・タイムラインを作ろう）を実施

坂東市

下館河川事務所から講師を迎え、マイタイムライン講座を実施

地域と学校の合同防災訓練にて防災啓発を実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●小学生を対象とした防災教育の実施
✓小学校において水災害教育（避難訓練、マイ・タイムラインの作成等）を実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

つくば市

小学生向けの防災講習を実施

常総市

H30.9.3の市内小中学校防災訓練において、小中学生に防災講習を実施

利根町

H30.9.21に、町内小学校1校で、下館河川事務所主催によるマイタイムライン講座と併せて、町ハザードマップを使用し防災講習を実施

龍ケ崎市

小中学校を対象とした水災害教育を防災気象アドバイザー（委託）により実施

守谷市

要望のあった小・中学校を対象に実施

取手市

一部の小学校においてマイ・タイムライン講座を実施

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●出前講座等を活用した講習会の実施
✓出前講座等を活用し、水防災意識を高めるための講習会を実施する。

【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整

H31.2.28 鬼怒川・小貝川流域の水防活動に関する講演会を開催

・H30年度マイ・タイムライン作成者1万人突破！

H30.6.23
「赤プルとつくろう マイ・タイムライン おめーら みんなで逃げキッド！

H30.9.2
お天気キャスターとつくろうマイ・タイムライン

気象庁

平成30年7月8日
気象庁ワークショップ
つくば市

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●プッシュ型の洪水予報等の情報発信
　✓プッシュ型による情報発信（洪水予報等）の実施

【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整

○　平成28年9月5日から、国が管理する鬼怒川（常総市）において、携帯電話事業者が提供する緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を開始。

○　平成29年5月1日から、配信エリアを鬼怒川・小貝川沿川の19市町に拡大。

平成29年6月18日下妻市防災訓練
（緊急速報メールと連動した避難訓練）

緊急速報メールの着信

洪水情報のプッシュ型配信イメージ

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

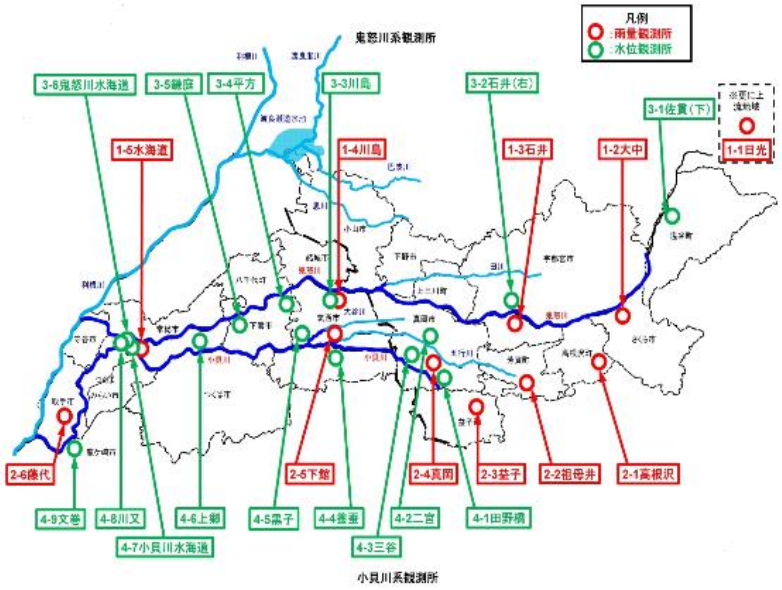
●水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供
✓水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する

【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整

○ 水位計やライブカメラ等の情報を、下館河川事務所HPよりリアルタイムで提供中。

雨量・水位情報をリアルタイムで提供中



59箇所のライブ映像を配信中

鬼怒川：川島水位観測所

ライブカメラ

平常時の様子

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■その他

●その他（その他の取り組み内容について記載）

【その他の取り組み】平成31年3月現在

【具体事例】

結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、つくば市、守谷市、筑西市、坂東市、つくばみらい市、八千代町、利根町、茨城県、気象庁、関東地整

水防災意識強化週間にパネル展を実施

結城市

取手市

常総市

つくば市

守谷市

坂東市

つくばみらい市

八千代町

利根町

茨城県

関東地整

古河市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、守谷市、筑西市、八千代町、利根町、茨城県、気象庁、国土地理院、関東地整

減災対策協議会担当者会議
（広域避難計画、マイ・タイムライン等が議題）

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■その他

●その他（その他の取り組み内容について記載）

【その他の取り組み】平成31年3月現在

茨城県

「いばらき防災タウンページ」の作成・配布
茨城県は県民の防災意識の啓発のため，県内全域で「いばらき防災タウンページ」を発行し，本年2月中に県内全世帯へ配布

防災タウンページ

マイマップ作成

つくば市

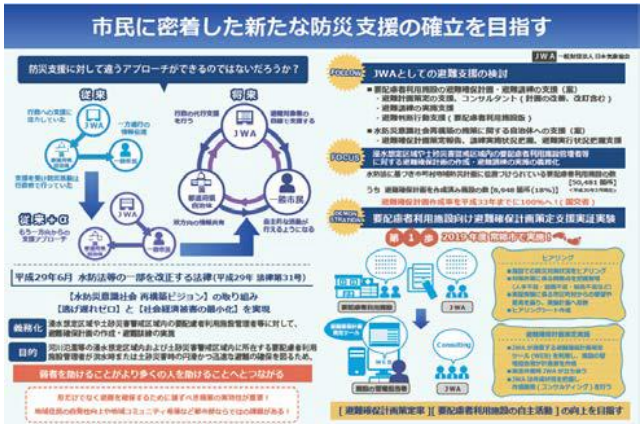
BiViでの
パネル掲示

常総市

総務省実証事業対象者および
市民向けアンケートの実施

常総市

避難行動要支援者に対する福祉部局との連携強化



2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■その他

●その他（その他の取り組み内容について記載）

【その他の取り組み】平成31年3月現在

H29　災害・避難カード等作成モデル事業の実施状況

参考資料

開催状況

○ 9月から2月にかけて，8市町で開催 （古河市，那珂市，利根町，桜川市，常総市，龍ケ崎市，下妻市，かすみがうら市）　※かすみがうら市は気象庁ワークショップ注1を実施

○ 参加者数：165名（途中退席者は除く）　※ 見学：2河川事務所，10市町

モデル事業の内容（概ね3時間）

レクチャー（災害情報を正しく理解する）	グループワーク①（一人ひとりが考える）	グループワーク②（地域のみんなで考える）	災害・避難カード注2に記入
県職員が気象や災害の基礎知識，避難行動，災害情報の活用方法等について説明	マンダラート使用して，「適切な避難行動」に関する自分の考えを外化・整理	班別に地域の災害危険箇所や避難場所までの安全な経路等を話し合い，地図に記載し，発表	ワークショップを通じて，災害時の行動を記入

今後の予定

H30～：モデル事業を他市町村において実施するとともに，事業実施市町村において，他の地域で水平展開を実施

（注1）気象庁ワークショップ…気象庁が開発した学習プログラムで専門家と進行役による災害に関する解説を参加者が聞きながら班別に意見を出し合いまとめていく。

（注2）災害・避難カード…災害種別ごとに，避難行動の内容と避難の合図を整理した「タイミング表」のこと。

（注3）マイマップ…自宅を起点に地域の災害危険箇所や緊急避難場所までの経路などを記載したもの。

記載した地図は，浄書し，後日「マイマップ」注3として参加者へ配布

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●マイ・タイムライン作成講座の実施
✓マイ・タイムライン作成講座の実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

龍ケ崎市

・マイ・タイムライン作成講座の実施（北文間地区H30.6.17）

八千代町

・マイ・タイムライン講習会（西豊田地区）

坂東市

・マイ・タイムライン講座（市立東中学）

つくばみらい市

・タイムラインに基づく情報伝達訓練にあわせて、タイムライン講座を実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●マイ・タイムライン作成講座の実施
✓マイ・タイムライン作成講座の実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

古河市

・市内行政区に対してマイ・タイムライン作成講座を計3回実施

常総市

・市民を対象に実施。小学校教員・生徒や民生委員・町内会・ボランティア協議会に対し、計5回の講座を実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●地域の防災リーダーの育成
✓地域の防災士やマイ・タイムラインリーダーへの研修を実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

下妻市、常総市、龍ケ崎市、つくばみらい市

・マイ・タイムラインリーダー認定講座を実施

下妻市

常総市

龍ケ崎市

つくばみらい市

古河市

・地域の防災リーダーのために防災士資格取得の補助金を交付

取手市

・リーダー育成のため、防災の出前講座を行う際に随行していただいている

八千代町

・防災士資格助成事業実施

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
- ✓無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保
- ✓情報伝達訓練等の実施

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

古河市
結城市
龍ケ崎市
下妻市
常総市
取手市
つくば市
守谷市
筑西市
坂東市
つくばみらい市
八千代町
利根町

【具体事例】

龍ケ崎市

・水防団（消防団）の各訓練の中で、車載型無線機を用いた通信訓練を実施
・災害対策本部から水防団への連絡体制を定めており、情報提供を実施している

下妻市

・幹部団員については、緊急連絡先を作成
・通常の連絡にもメールを活用

常総市

・年間を通して定期訓練の実施及び幹部団員の教養訓練を実施
・H31.2.24市防災訓練で伝達訓練を実施

筑西市

H30.7.1 消防団夏期訓練時に実施

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防団同士の連絡体制の確保
✓近隣の水防団の連絡体制の確保

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

下妻市

・幹部団員については、緊急連絡先を作成
・通常の連絡にもメールを活用

取手市

全水防団へ災害時優先携帯電話を配布している

坂東市

幹部団員については、メールや連絡網等により連絡体制を確保している

つくばみらい市

日頃の訓練や火災現場などで随時行っている

利根町

防災無線（移動系）及び消防団登録メールにより連絡体制を確保している

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
✓毎年、国が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

沿川市町、茨城県、気象庁、関東地整

水防災の意識の共有・再確認を図るため、水防団、市町、茨城県、国が連携し、一般市民も参加した現地での「共同点検」を実施

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- ✓利根川水系合同水防訓練及び鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加
- ✓水防管理団体が行う訓練への参加

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

下妻市、常総市、つくば市、つくばみらい市、八千代町
茨城県、関東地整

鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加

下妻市

風水害を想定した市防災訓練を実施

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- ✓利根川水系合同水防訓練及び鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加
- ✓水防管理団体が行う訓練への参加

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくばみらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

筑西市

水防訓練に参加

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
✓広報紙やホームページ等で広く募集していく

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

古河市

水防団（消防団）の募集を市の広報誌、ホームページ、チラシに掲載

下妻市

水防団（消防団）員募集のパンフレット（消防庁作成）を消防交通課窓口に設置

つくば市

水防団（消防団）員の確保に向けた取り組みとして，「学生消防団活動認証制度」や「消防団員サポート事業」の，来年度実施に向け準備を行った

坂東市

ポスター掲示やイベントでのチラシ配布等で、水防団（消防団）の募集を随時実施

利根町

水防団（消防団）員の募集を消防団を通して、随時実施

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築
✓地域の建設業者も組み込んだ水防支援体制の検討を実施し、構築する

【H30年度実施状況】：平成31年3月現在

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

- 古河市
- 結城市
- 龍ケ崎市
- 下妻市
- 常総市
- 取手市
- つくば市
- 守谷市
- 筑西市
- 坂東市
- つくば みらい市
- 八千代町
- 利根町

【具体事例】

古河市、龍ケ崎市、取手市、つくばみらい市

市建設業協会等と災害協定を締結しており、水防支援体制についても構築済み

結城市、常総市、つくば市、坂東市、八千代町、利根町

地元の建設関係団体、建設業者等と災害時応援協定を締結済み

下妻市

・H30.9.2に風水害を想定した市防災訓練を、下妻市千代川建設業協会と協力して実施し、道路等土砂撤去訓練を実施

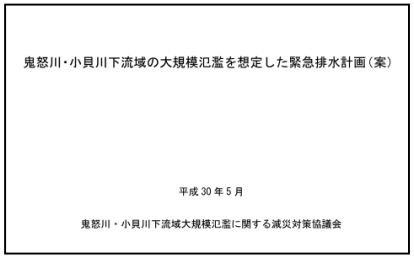
2）ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組の取組

■緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施

●大規模水害を想定した緊急排水計画（案）を作成
✓大規模水害を想定した緊急排水計画（案）を作成

【全市町、県、国の取り組み】

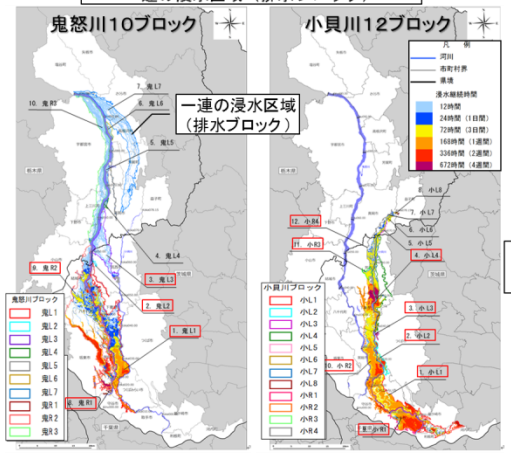
氾濫ブロック毎に、初動対応に重点を置いて、排水ポンプ車の待機箇所、配置箇所、進入ルートを設定した緊急排水計画（案）を作成

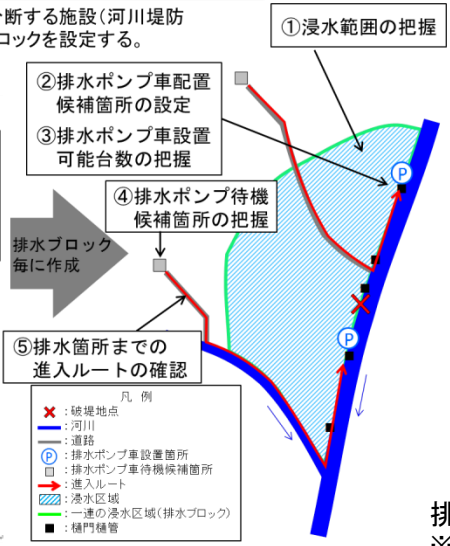


一連の浸水区域（排水ブロック）毎に「緊急排水計画（案）」を作成

想定最大規模の洪水浸水想定区域を対象とし、浸水を分断する施設（河川堤防や連続盛土等）を考慮した、排水計画の基本となる排水ブロックを設定する。

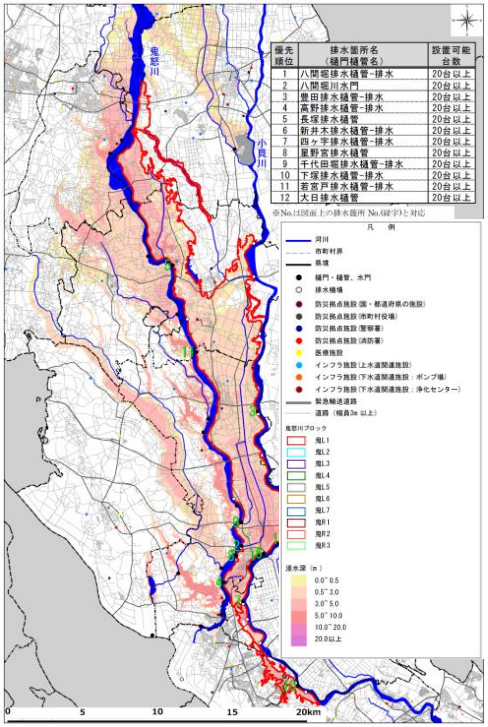
鬼怒川・小貝川洪水浸水想定区域図と一連の浸水区域（排水ブロック）





□：下流域の排水ブロック　※流域内の全排水ブロックを表示している。

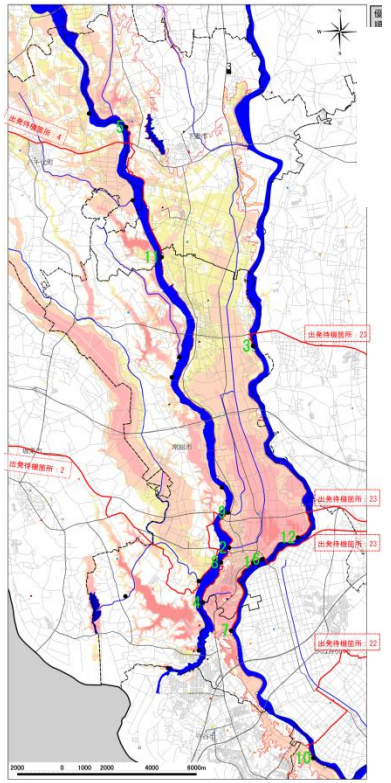
例：鬼L1ブロック



優先順位	排水箇所名（樋門樋管名）	設置可能台数
1	八間堀排水樋管-排水	20台以上
2	八間堀川水門	20台以上
3	豊田排水樋管-排水	20台以上
4	高野排水樋管-排水	20台以上
5	長塚排水樋管	20台以上
6	新井木排水樋管-排水	20台以上
7	四ヶ字排水樋管-排水	20台以上
8	星野宮排水樋管	20台以上
9	牛代田堀排水樋管-排水	20台以上
10	下塚排水樋管-排水	20台以上
11	若宮戸排水樋管-排水	20台以上
12	大日排水樋管	20台以上

※No.は図面上の排水箇所 No.(緑字)と対応

排水ポンプ車配置箇所と設置可能台数
※浸水図は全破堤計算結果の包絡浸水図を示す。



排水箇所までの進入ルート
※浸水図は全破堤計算結果の破堤から1日後の包絡浸水図を示す。

2）ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組の取組

■排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施

●排水計画に基づく排水訓練の実施
✓排水計画に基づく排水訓練の検討および実施

【国の取り組み】平成31年3月現在

関東地整　国・自治体・災害協定会社 合同の災害対策用機器操作講習会実施。坂東市　つくばみらい市　下妻市　常総市　八千代町　結城市　茨城県、下館河川事務所　が参加。

【市町の取り組み】平成31年3月現在

【具体事例】

取手市

市で購入した「排水ポンプ車」を活用した排水訓練を実施

筑西市

移動式排水ポンプ操作訓練を実施
(H30.5.27、H30.5.30)